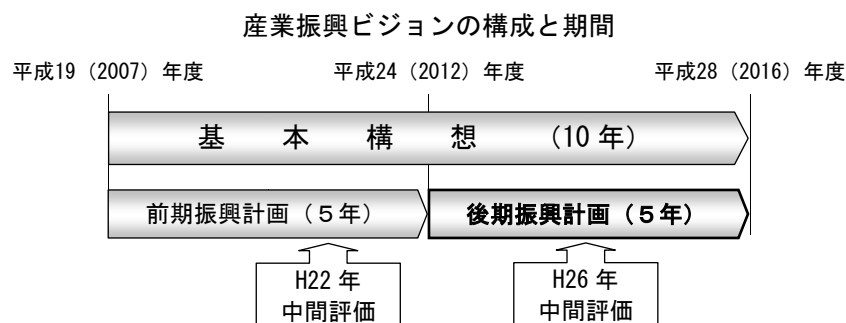


## 長野市産業振興ビジョン（後期振興計画）について

### 1 概要

産業振興ビジョンは、平成19年度を初年度とし平成28年度を目標年度とする「基本構想」と、平成19年度から平成23年度までの「前期振興計画」、平成24年度から平成28年度までの「後期振興計画」とで構成されており、前期・後期の各振興計画については、それぞれの計画期間中に、その進捗状況について、中間での一斉評価（中間評価）を行うこととしています。



### 2 後期振興計画の進捗管理について

長野市産業振興ビジョン後期振興計画の実効性を高めるため、毎年度「後期振興計画重点プラン実施計画書兼管理票」（資料4）を作成し、計画に対して随時見直しを行うとともに、平成26年度においては、中間評価（資料5）を実施することにより、適正な進捗管理を行います。

【年度評価と中間評価の主な比較】

区分	年度評価	中間評価
評価期間等	主に前年度の事業実施状況の評価	計画期間の前半（H24・25年度）事業実施状況を総括して評価
評価方法	数値化（指標項目ごとの達成率）による評価	数値化による評価 ＋ コメント（数値に対する説明・数値だけでは表せない事業実績等）を加える。
評価の反映	前年度評価を当該年度の事業内容に反映	計画期間の後半（H26～H28年度）における事業内容に反映させるため、必要に応じて数値目標の改善を行う。

### 3 中間評価の実施方法

年度評価と同じく、本審議会において中間評価に係るご審議をいただくとともに、各専門分科会においてもより専門的で細かなご審議をいただくことにより、中間評価によるビジョンの実効性を高めたいと考えます。